

「みどりのネットワーク」のフース紹介

1. みどりのカーテンを育てよう！

「みどりのカーテン」は「つる性の植物でつくる「自然のカーテン」。苗を2ポット100円で販売。夏の強い日差しを和らげ、節電対策にも。



ゴーヤ



アサガオ



センナリビヨウタン



フウセンカズラ



ミニトマト



ヘチマ



キュウリ



ササゲ

2. 寄せ植えを楽しもう！ 寄せ植え体験

ゴデチャ、キンギョソウ、ニゲラ、ネモフィラ、カスミソウなどを使って「マイ寄せ植え」をつくりましょう。参加費:500円。



ゴデチャ



キンギョソウ



ネモフィラ



ビスカリア



カスミソウ

☆花の種類は変更する場合があります。

3. 「昔の道具」を使った「脱穀・もみすり」体験

昔の道具を使って、お米を食べるまでの作業を行います。昔の道具にはたくさんの知恵がつまっています。かつてのうらやすでも同じ風景が？



足踏み脱穀機



うすと杵



唐箕(とうみ)



脱穀・もみすりの光景

4. 田んぼ・ビオトープ

オタマジャクシとメダカの水槽

「弁天ふれあいの森公園」の「田んぼと池」は、オタマジャクシでいっぱい。また、公園では、メダカを育成し、ふやしています。

「田んぼ」と「ビオトープ」には、どのような生き物が生息しているか、訪れるかも紹介します。



田んぼのニホンアカガエル



アズマヒキガエルのオタマジャクシ



ニホンアカガエルの親
千葉県最重要保護生物



育てている「メダカ」

5. 「うらやす」の原風景再現、ふるさとづくり

かつての「うらやす」は、川と広大な干潟、陸側のほとんどが「水田」でした。「田んぼ・池」は、市内の小学校、幼稚園、こども園、公園などでの「原風景の再現」を目指し、また、「自然や生き物とのふれあい」、「お米づくり体験」など、子どもたちの原体験・学習の場として使われています。その様子もパネルで紹介します。

かつての「うらやすの風景」が少しでも再現され、川、干潟、田んぼなどで遊び、体験をする場になり、みんなの「ふるさと」になるといいですね。



代かき・泥んこ遊び



田植えの風景